

議会だより



佐々町小学校陸上記録会(10月3日・佐々小グラウンド)

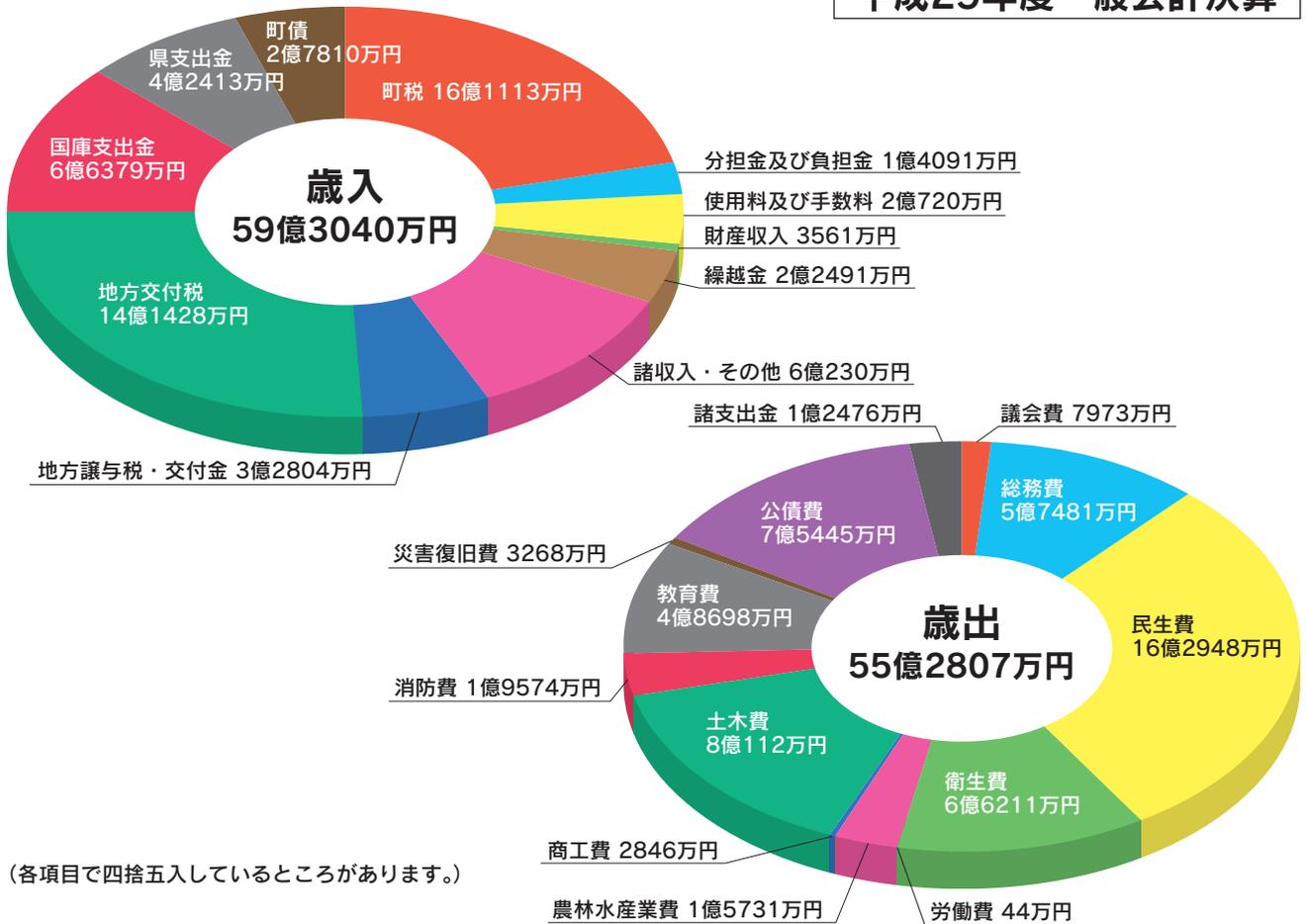
◆ 目次 ◆

□決算特集	2~3
□9月定例会で審議したこと	4~5
□9月定例会 賛否表	6
□常任委員会報告	7
□一般質問3人が町政を問う	8~11
□子ども議会	12~14
□研修報告・議会日誌	15
□インターンシップ感想・編集後記	16

厳しく審査!!

平成29年度 決算認定

平成29年度一般会計決算



会計別決算状況

区分		歳入	歳出	差引額	
一般会計		59億3040万円	55億2807万円	4億233万円	
特別会計	国民健康保険特別会計	17億7215万円	17億50万円	7165万円	
	国民健康保険診療所特別会計	1022万円	860万円	162万円	
	介護保険特別会計	保険事業勘定	11億3678万円	10億8987万円	4691万円
		サービス事業勘定	261万円	228万円	33万円
	後期高齢者医療特別会計	1億3912万円	1億3682万円	230万円	
	公共下水道事業特別会計	7億3878万円	7億97万円	3781万円	
	農業集落排水事業特別会計	2463万円	2216万円	247万円	
	小計	38億2429万円	36億6120万円	1億6309万円	
合計	97億5469万円	91億8927万円	5億6542万円		
水道事業会計	収益的 ^{※1}	3億8093万円	2億5010万円	1億3083万円	
	資本的 ^{※2}	301万円	1億9560万円	▲1億9259万円	

※1 収益的…経営に伴い、発生が予想される収入と費用 ※2 資本的…将来に備えて行う建設改良等の支出とその財源となる収入

平成29年度全会計の決算を 決算審査特別委員会で

平成29年度決算を審査するため、決算審査特別委員会を9月定例会初日(9月27日)に設置し、委員長に阿部豊議員、副委員長に橋本義雄議員を選任しました。

審査は10月9日、10日、12日、15日、16日、17日の6日間で開催し、集中審議を行いました。

平成29年度決算のあらまし

一般会計歳入総額は59億3040万円、歳出総額は55億2807万円、翌年度へ繰越すべき財源1億6827万円を除く実質収支額は2億3405万円になりました。

町の借金である一般会計の地方債残高は44億3534万円に、町の貯金である一般会計の基金現在高は56億1454万円になりました。



大新田排水機場の現地確認

町民
1人あたり
約40万円
使いました
H30.3.31現在
人口13843人

平成29年度財政健全化判断比率等の状況

財政力指数	経営収支比率	実質公債費比率	将来負担比率	実質赤字比率	連結実質赤字比率
0.510	89.8%	8.3% (基準は25%)	▲89.2% (▲は黒字)	▲6.9% (▲は黒字)	▲42.1% (▲は黒字)

●財政健全化を見るには、実質公債費比率、将来負担比率、実質赤字比率、連結実質赤字比率の4指標があり、国では財政状況を判断するため、健全化判断比率の算定及び公表を義務づけています。佐々町の財政は健全であるといえます。

総額59億8178万円

実施設計費を可決

平成30年度一般会計の補正予算

追加した主な事業	補正額
役場1・2階のフローカーペット張替え工事 役場駐車場ブロック壁改修工事	2,700千円
町内会集会所のエアコン設置工事(3カ所)	1,550千円
中国の上海市視察研修旅費「友好都市の調査研究」	450千円
町道改良維持補修工事(ブロック壁撤去を含む)	8,050千円
農業体験施設のビニールハウスほか修繕料	1,350千円
児童生徒用防犯ブザー購入費	1,300千円
小中学校エアコン設置実施設計委託料	11,900千円



町道小丸山線のブロック塀

主な内容は、大阪府でのブロック塀の倒壊で、女児が死亡した事故を受けて、公共施設の緊急点検を実施し、町道小丸山線、公園のトイレや小中学校のブロック塀を撤去する等の工事費が補正されました。

主な内容

また、役場庁舎のカーペット張替え工事、小中学校のエアコン設置については、今夏の異常な暑さを鑑み、来夏の猛暑前に設置する予定で、実施設計業務委託料が補正されました。

歳入にあつては、平成29年度の決算剰余金2億3405万円、地方交付税の増額2130万円、ふるさと納税の寄附金7000万円などを増額補正しました。

平成29年度決算審査を特別委員会に*付託

付託された議案名
佐々町一般会計歳入歳出決算認定の件
佐々町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件
佐々町介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件
佐々町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件
佐々町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定の件
佐々町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件
佐々町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定の件
佐々町水道事業会計利益の処分及び決算認定の件

*付託とは、議会において、議案の審査を本会議の議決に先だって他の機関に委ねること。

9月定例会で審議したと

9月定例会は、9月27日から10月31日まで、途中、決算審査を挟み35日間の会期で開かれました。ブロック塀撤去費用等の補正予算など26議案が上程され、全議案が可決されました。

また、議員による発議1件と意見書1件が提出され、2件とも決定しました。そのほか人権擁護委員などの人事案件3件を審議し、すべて同意しました。

平成29年度の各会計8つの決算認定については、決算審査特別委員会へ付託され、特別委員会を開催し、その後会期中に認定となりました。

平成30年度一般会計補正2億1608万円

小中学校のエアコン設置

その他の議案

人事案件

①教育委員会教育長の任命

再任 黒川雅孝さん

(里山)

任期 平成30年10月から3年間

②教育委員会委員の任命

再任 山之内英樹さん

(里山)

任期 平成30年10月から1年間

新任 寺崎純子さん

(四ツ井樋)

任期 平成30年10月から4年間

③人権擁護委員の任命

再任 大山英二さん

(里)

新任 小佐々慎二さん

(北)



新任 石橋琴美さん

(まごん花)

任期はいずれも平成30年1月から3年間

④固定資産評価審査委員会委員の任命

再任 大石祐二さん

(新町)

任期 平成31年10月から3年

⑤固定資産評価員の任命

新任 中村義治さん

(真申・副町長)



条例改正

①高齢者等の配食サービス事業及び一人暮らしヤクルト配達事業の廃止による条例改正

②指定居宅介護支援事業者指定の審査手数料の追加による条例改正

その他3件の条例改正がありました

①子育て支援などの社会保障、地域交通の維持、災害や人口減少などの対策に予算の確保・充実強化を求める意見書

意見書・採択

意見書・採択



平成30年度特別会計の補正予算

特別会計名	補正額	可決後の予算額
国民健康保険特別会計	72,593千円	14億7585万円
介護保険特別会計（保険事業勘定）	52,407千円	11億6848万円
介護保険特別会計（サービス事業勘定）	331千円	275万円
後期高齢者医療特別会計	542千円	1億4399万円
国民健康保険診療所特別会計	809千円	998万円
公共下水道事業特別会計	20,613千円	9億6361万円
農業集落排水事業特別会計	10,923千円	4342万円
水道事業会計	「予算の組み換え」 0千円	3億6312万円

平成30年9月議会 賛否表

○は賛成 ×は反対

議案番号	議案件名	永安文男	浜野 亘	永田勝美	長谷川忠	阿部 豊	橋本義雄	平田康範	須藤敏規	川副善敬	淡田邦夫	評決数	結果
46	佐々町教育委員会委員の任命について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	同意
47	佐々町教育委員会委員の任命について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	同意
48	佐々町教育委員会教育長の任命について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	同意
49	固定資産評価員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	同意
50	固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦に関する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	適任と決定
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦に関する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	適任と決定
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦に関する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	適任と決定
51	佐々町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
52	佐々町手数料条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
53	佐々町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
54	佐々町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
55	佐々町国民健康保険税条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
56	平成29年度 佐々町一般会計歳入歳出決算認定の件	○	×	×	○	○	○	○	×	○		6対3	認定
57	平成29年度 佐々町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	×	○	○	○	○	○	○		8対1	認定
58	平成29年度 佐々町介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	×	○	○	○	○	×	○		7対2	認定
59	平成29年度 佐々町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	×	○	○	○	○	○	○		8対1	認定
60	平成29年度 佐々町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	認定
61	平成29年度 佐々町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	認定
62	平成29年度 佐々町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	認定
63	平成29年度 佐々町水道事業会計利益の処分及び決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	認定
64	平成30年度 佐々町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
65	平成30年度 佐々町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
66	平成30年度 佐々町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
67	平成30年度 佐々町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
68	平成30年度 佐々町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
69	平成30年度 佐々町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
70	平成30年度 佐々町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
71	平成30年度 佐々町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
意見書第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書(案)の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
発議第3号	議員の派遣について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決

淡田議長は採決に加わりません

常任委員会報告

産業建設文教委員会

平成30年8月2日・20日・31日の3日間、所管事務調査の委員会を開催した。

8月2日(木)

- ① 伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会への佐世保市の加入依頼については全員協議会で審議することとした。

- ② 西九州させば広域都市圏の連携事業、スケジュールなどについて調査研究し、継続調査とした。

- ③ 西九州自動車道の4車線化、台風7号及び7月6日の豪雨被害、学校敷地内のブロック塀の調査などの報告を受けた。

8月20日(月)

小・中学校の教室にエアコンの設置を

佐々小学校	15教室
口石小学校	19教室
佐々中学校	14教室
計	48教室

小中学校の普通教室に空調を整備するため学校施設環境改善交付金(大規模改造/空調設備)の申請を8月に申請。今後のスケジュールは9月議会の補正予算に実



町営牧崎団地

施設設計費用を計上し、平成31年度に設置を予定。

8月31日(金)

町営住宅について

- ① 平成23年度に策定した長寿命化計画では、牧崎を除く、図池、里山、里山第2の3団地が対象であったが、建替用地の問題と耐用年数を大幅に超過し躯体の老朽化が否定できない牧崎を加えた4団地での建替計画が示され、継続調査とした。
- ② その他主な調査事項
 - 児童生徒の緊急安全対策
 - 公共事業の進捗状況

総務厚生委員会

平成30年8月3日・10日・9月4日・12日の4日間、所管事務調査の委員会を開催した。

8月3日(金)

- ① 国民健康保険条例の一部改正
 - 事務手続きの簡略化等のためである旨の説明を受けた。

8月10日(金)

- ① 西九州させば広域都市圏について
 - 国際交流について、上海市宝山区・張廟街道への職員派遣予定の報告を受けた。
- ② 西九州させば広域都市圏について
 - 検討スケジュール・連携予定項目ごとの説明を受け、継続調査とした。
- ③ その他
 - 7月3日台風7号及び7月6日豪雨について総務課から報告説明を受けた。



- ③ 学童保育について進捗状況の報告を受けた。

④ その他報告

防犯灯補助金の見直し、役場庁舎維持管理関連工事、ふるさと納税、福祉医療費助成に係る現物給付、他の報告を受けた。

9月4日(火)

- ① 条例等について
 - 9月議会上程予定の各条例について説明を受けた。
- ② 地域福祉計画について
 - 進捗状況について報告を受けた。



9月12日(水)

- ① 学童保育について
 - 進捗状況について報告を受けた。



活かそう町民の声・町政の方針は？

9月定例会一般質問



浜野 巨 議員(一問一答) 9

- ・官公署の障がい者雇用の水増し問題
- ・町議会の使命と執行機関への関与
- ・総合福祉センター前の広場の活用
- ・バスや鉄道の利用促進と高齢者の外出支援

永田勝美 議員(一問一答) 10

- ・子育て応援、教育環境の整備
- ・高齢者外出支援
- ・国保税の引き下げ
- ・原発問題と災害対策

橋本義雄 議員(一問一答) 11

- ・佐々川の農業用水を引き込む井堰
- ・桜について
- ・農作物の被害防止対策
- ・歩道整備の進捗状況



小浦おくんち子どもみこし(10月8日)

◎一般質問の記事について 質問した議員が執筆したものです。

◎一般質問方法 【一括質問一括答弁】 議員が質問項目すべてを一括して質問。その後町側がその質問項目について一括して答弁を行います。
【一問一答方式】 文字どおり一つの質問項目ごとに町側から答弁を行います。



議員 浜野 亘

障がい者の雇用率 町の実態は

回答

役場では雇用2人 雇用率1.89%

中央省庁を発端に、

都道府県や市町村へ波及しました「障がい者雇用の水増し問題」は、ほとんどの中央省庁や府県で水増しがあつたと報道されました。『佐々町の実態はどうか』という質問した。

■質問

法定雇用率2.5%に対し、町の障がい者雇用率はいくらか。

■町長

雇用率は、職員数106人に対し、障がい者2人雇用で、1.89%となっています。

■質問

職員数は106人でなく150人以上にはなると思うが。

■総務課長

臨時・嘱託職員は算入していない。

(注：決算審査資料では嘱託53人の換算である)

問 途中で相談されないと議員活動ができない

答 相談しながらやっていると思っ

町議会から、役場執行部に対し意見を言う機会が少なく、方針決定後に報告されると、意見が反映できない状況が続いていますので、改善を求めるため質問した。

■質問

町長は新政策を執る場合には、「町議会とも相談させていただきながら」と良く言われますが、本当に思っておられるのか。

■町長

相談をしながらやっていると思っ

■質問

西九州させば広域都市圏構想について、意見を言ったが、最終的な判断での報告をされたので、議員としての活動ができなかった。



■町長

手続き上そういうことになり、大変ご迷惑をおかけしました。

■質問

佐々川を活用した新規事業についても1年以上報告がないが、途中経過の報告をしてもならないと意見が言えない。

■町長

国交省よりコンサル会社を派遣されている段階で、説明できるような内容が、まだ固まっています。

問 総合福祉センター前広場の売買価格はいくらか

答 坪単価16万8千円で売却

■町長

総合福祉センター前の広場について、社員寮が完成間近になっているが、適正な価格で売却されたのかという疑問から質問した。

■質問

以前、相場の20万円以上で売買すべきと言ったが、土地はいくらで売却されたのか。



建設中の社員寮

■町長

1坪16万8000円で売却しました。

問 西肥バスのバス券助成の検討はどうなったか

答 研究課題ということで検討する

■町長

昨年の9月定例会で質問した「西肥バスのリフレッシュバス65」等への助成に対し、『検討する』旨の回答であったので、その後の調査研究及び検討結果について質問した。

■質問

調査研究及び検討はどのようにされたのか。

■町長

検討すべき課題と

■質問

75歳以上の外出支援で、その後も要望があつている。

■町長

財政的な負担も考慮しながら検討させていただきます。



議員 永田勝美

「猛暑」災害レベル、学校エアコンどうする

回答

来年の夏に間に合わせたい

■質問

今年の夏の猛暑は「災害レベル」であった。熱中症発生は1.8倍。「ごども命に関わる問題」との町民の声も寄せられた。設置の時期を示されたい。

■町長

平成31年度の設置に向けてすすめていく。来年夏に間に合わせたい。

問 小中学校体育館等のエアコン設置も

答 全体的に研究したい

体育館や交流センター→多目的室は災害時の避難所になっている。このエアコン設置は総務省の「緊急防災減災事業債」を活用すれば、町の負担は30%で済む。

早急な検討をすすめるべきだ。



問 就学援助・基準改定はどうか

答 現行の1.2、1.3倍に改善したい

問 小中学校のトイレ改善計画は

答 小中学校は来年、中学校は再来年に実施する。3校とも洋式トイレが75%程度になる。

問 町内交通の検討会設置を

答 地域福祉計画の中で、やっていく

現在のタクシー利用券は、月4枚初乗り料金を補助している。喜ばれているが、利用は

対象者の半数で、利用券はさらに半数しか使われていない。全体で4分の1の利用であり、さらなる検討が必要だ。町内交通全体について検討会や内部検討チームを設置していくべきだ。

問 国保税「均等割」軽減をはかれ

答 十分研究したい

■質問

赤ちゃんにも一律課税される国保税「均等割」を軽減すべきだ。少なくとも子どもさんが3人以上の多子世帯には減免制度を具体化すべきではないか。

■町長

県の市町国保連携会議とも協議したい。

問 国保44条（一部負担）減免の周知を

答 担当課長でできるかぎりの周知を行っていききたい

問 国保資格証明書発行はやめよ

答 昨年よりは減少している

問 原発再稼働やめ、自然エネルギーに

答 原発再稼働は国の方針、意見は述べない

■質問

太陽光を例にとれば、原発10基分のエネルギーを生み出している。原発はブラックアウトの原因にもなった大規模電源だ。従来の主張は変わらないのか。

問 防災対策の専任者を置くべき

答 各種団体の協力を得ながらやっていく

■質問

避難所にはエアコンも水も食料も寝具もない。防災は様々な災害に対応し、情報の周知徹底、住民の協力など多角的な計画が必要となる。防災の専任担当者置いて研究すべきだ。

■町長

町村で専任部署を置くことはきびしい。





議員 橋本 義雄

農業用水を引き込む井堰をどうする

回答

農家負担を考慮、県および関係者と協議が必要

■ 質問

佐々川から、農業用水を引き込む井堰が、7力所(松瀬井堰・藤田井堰・新開井堰・横手井堰・栗林井堰・里井堰・大新田井堰)あったが、神田の藤田井堰が崩壊し、今年7月の豪雨により、栗林の井堰が破損しています。今後、あとの井堰も崩壊する恐れがあります。この状況をどう考え、どう対処していかれますか。



災害で破れた栗林井堰

■ 町長

今後、10年、20年先の農業を考えた場合、

■ 質問

適切な維持管理や計画的な補修、更新ができるか十分検討しなければならぬ。

問 桜について

■ 質問

7月3日の台風で多くの桜が倒れました。神田駅前の河津桜は、10本以上吹き飛びました。他の地区も倒れていると思います。何本ぐらい倒れて伐採したのか、又今後どう管理されるのか。

■ 町長

桜の倒木について、公園、町有地で合わせて100本程度の倒木被害があり伐採撤去をしたい。

今後樹木医等専門家の意見や技術的な支援をいただきながら適切な管理を行っていき

■ 質問

三大花祭りの、しだれ桜、河津桜、苗木ぐらいは町で育てたらどうか。

■ 町長

樹木医、専門家の指導を受けながら、民間造園業者等への委託等も含めまして、検討研究しながら、やっていきたいと思っています。



平成30年7月台風による河津桜倒木の状況

問

農作物の被害防止対策について

■ 質問

イノシシの防護柵としてワイヤメッシュが

■ 質問

各地域に設置されて7〜8年になります。設置時の説明では耐用年数が15年といわれていましたが、現状として、下部の腐れがひどく、イノシシが侵入している状況です。早急な対策として補修用ワイヤメッシュの支給を国県に要望すべきでは。

■ 町長

国県の補助対象という事で見直しをしながら、補修についても対象になるように要望をして行きたいと考えています。



腐食が進む中山間ワイヤメッシュの状況

問 歩道整備の進捗状況について

■ 質問

歩道整備の実施設計が終わったところがありますが、旧道を歩道にしてやると言われましたが、安全に歩けるような、歩道整備をどう考えるのか。

■ 町長

グリーンベルト施工とか、どういうことができるか、十分検討して、また、通学路の交通安全プログラムにもとづき、推進会議の中で考えていただければと思っています。



神田線歩道未整備の状況

平成30年度 第1回

佐々町子ども議会

質問・答弁は紙面スペースの関係から内容を要約して掲載しております。

主催 佐々町議会・佐々町

開催日 平成30年8月29日

開催場所 佐々町役場 議場

安心・安全な町づくりのための取り組みを



佐々中学校3年
蓮本望夢 議員

■質問

水害、土砂災害、地震など自然災害が各地で多発しているが佐々町でも、このような災害が発生する可能性は十分にある。

ハザードマップを作成し、各世帯へ配布、また、地域単位での避難訓練など、今後どのような取り組みを考えているのか。

■町長

今年度中に新たなハザードマップを作成し全世帯へ配布する。

地域単位での避難訓練は現在作成中のハザードマップを活用し、自主防災組織単位で実施していただきたいと考えている。

佐々町の産業振興とキャリア教育の充実



佐々中学校3年
福田直紀 議員

■質問

職業体験や見学ができる企業を誘致し、義務教育の段階から職業について関心を高めることができる教育プログラムを導入し、キャリア教育の充実をはかったらどうか。

企業を中心とした観光や町の活性化につながると思うが、どのような考えか。

■教育長

進路学習年間計画により3年間で60時間程度のキャリア教育を実施しており、職場体験学習も町内を中心に40事業所ぐらゐの協力をいただいている。今後も様々な体験ができるよう努力する。

佐々町に大型商業施設建設の検討は



佐々小学校6年
吉田来夢 議員

■質問

佐々町にショッピングモールを造れば町外からもお客さまが来て、町は活気づく。

また、近くになれば「いつもの人から買う」そのような人とのつながりを感じられる買い物ができ、さらには、佐々町の人口増につながると思うが。

■町長

広い土地の確保と色々な人と協議が必要で、また、町内の事業者との協力・連携により、商店街の方々と住民との信頼関係を築き売り手と買い手が協力し合うことで活力あるまちづくりにつながるのではと考えている。

スクールバスの運行を検討しては



口石小学校6年
稲垣来華 議員

■質問

小学校の校区は広く大変遠い地域から通学している仲間がいますが、大雨や台風などでは緊急の集団登下校を行い、安全に気を付けなければいけない。

不審者に出会うこともなく安全なスクールバスの運行を考えたらどうか。

■教育長

不審者などの問題については、警察や防犯関係者による通学路の安全点検を行う。スクールバスの運行は効果的と思うが、通学路の安全確保のため道路監視や警察、地域の方々による見守り活動の充実に取り組む。

皿山公園の整備はいつまでに



佐々小学校6年
早田真子 議員

■質問

皿山公園にはローラーすべり台や木製のアスレチックなどがあつたが、使用できなく、今は魅力がない。

また、交通事故など気にしなくて安心して遊ぶことができる公園であるが、整備は、いつ実現するのか。

■町長

本年度は、以前より短くなるが新たなロングすべり台の設置を予定している。31年度には休憩所前の広場を整備し、複合型のアスレチック系遊具施設を検討している。完成までには今しばらくの時間をいただきたいと考えている。

私たちが考える より良い佐々町の未来

夢あふれるまちづくり

子どもたちが議員となり、身のまわりにある疑問点や問題、解決策などまちづくりについて、堂々と熱弁を振るい、執行機関に質問

子どもが自由に遊べる公園のルール改善を

■質問

ボール使用禁止、年齢制限など遊びにくい公園がある。

公園に年齢制限が必要なのか。また、ボール使用を禁止することなく、公園の設置などを見直しをおこない、子どもの遊びの幅が広がる佐々町にしたらどうか。

■町長

公園は大小あわせて27カ所あるが、ボール遊び、自転車での遊びなど制限はしていないが、小さな子供たちが遊ぶ公園であり安心して安全にということを考えている。遊び場の整備はしなければと思う。

佐々町の歩道整備を進めるべきでは

■質問

児童の通学路には危険な箇所があるが、地域のボランティアの方が安全な登校ができるように見守っていたらいい。

歩道がなく危険な場所は何らかの整備が必要ではないのか。また、街灯が少ないのも問題では。

■町長

佐々町の通学安全路の推進会議の委員より危険箇所を抽出いただき、現地確認を行い、対策について検討している。防犯灯が必要な箇所は、維持管理費などの問題もあり、町内会などとの協議も必要と思う。

避難指示の具体的な方法は

■質問

西日本豪雨でたくさんの方が逃げ遅れて亡くなったが、「自治体の避難指示の放送が聞こえなかった」とテレビで報道されていた。

佐々町では、放送以外の避難指示はどのようにされているのか。

■町長

災害対策基本法に基づいて情報提供を行っている。防災行政無線以外では放送内容を確認できるメール配信サービス。電話で聞き直す電話対応サービス。ほか、町のホームページ、NBCデータサービス配信で情報を提供している。

佐々川を生かし、町の活性化への取り組みを

■質問

佐々川は町のシンボルとなっているが、河川公園や遊歩道を整備し、佐々川水祭りを開催することで佐々町の周辺から多くの観光客が集まり、町の活性化につながると思うが。

■町長

佐々川は2級河川で長崎県の管理河川となっており、県の許可が必要でイベント開催は厳しいのでは。また、佐々川は飲料水を取水している他、多様な水生生物がいるので生態系への影響など色々な課題のクリアが必要となるので、関係者、関係団体などと協議し検討したい。

佐々町の観光を盛り上げる取り組みを

■質問

佐々町にはしだれ桜やシロウオ、神社仏閣など豊かな自然にこまれているが、知名度アップにはつながっていない。

佐々町にマスコットキャラクターをつくつたらどうか。

■町長

佐々町の観光資源や特産物の情報はパンフレットやホームページで発信しているが、十分ではないと考えている。キャラクターをはじめ、佐々町がもっと有名になるように、今以上、特色ある情報発信をはかっていかなければと考えている。



口石小学校6年 神戸 葵 議員



佐々小学校6年 橋本七海 議員



口石小学校6年 深見来莉 議員



佐々中学校3年 五家鈴花 議員



佐々中学校3年 田口青詩 議員

子ども議会です

淡田議長開会あいさつ

本日、平成30年度第一回佐々町子ども議会が開催されますことを大変うれしく思っております。

本日の子ども議会を開催するにあたり、教育委員会、各学校の校長先生をはじめ多くの方々に準備、ご協力をいただき誠にありがとうございました。

また、ご家族をはじめ、多くの方々に傍聴においていただきまして、誠にありがとうございます。

本日の子ども議会で質問される子ども議員の皆さん頑張ってください。

町長あいさつ

子ども議員の皆さんは、日頃から感じたり疑問に思ったりしたことを、率直で活発な意見として発表されました。

様々な問題に大きな関心を持たれていることを心強く、頼もしく感じました。

皆さんの貴重な意見提案を参考に、まちづくりに取り組んでいきます。

校長あいさつ

佐々中学校
近藤隆生

町立小中学校を代表して御礼を申し上げます。

本日は貴重な機会を

児童生徒に与えていただき、ありがとうございます。

また、質問した10名の児童生徒のみなさんは、長時間お疲れさまでした。

質問は、自分たちの大好きな佐々町をもっと暮らしやすく、住みやすくしたいとの熱い思いが感じられました。

確かに、議会や行政のシステムについての理解は不十分であっても、それぞれの目線で考え、今日の質問で、自分たちのふるさと佐々町について真剣に考えることができたのではと思います。

最後に日頃より小中学校の教育について、ご指導、ご教示いただいております皆様方に心より感謝申し上げます。



佐々中学校
近藤隆生 校長

子ども議会議長

佐々中学校3年
田口青詩

子ども議会を体験して、佐々町の子もたちが、佐々町をもっとよい町にしようと思っ

ているのかを知ることができました。

どうしたらうまく伝えることができるのか、悩みながら改良に改良を重ねて議会に臨みました。

子ども議会副議長

佐々中学校3年
運本望夢

子ども議会に参加させていただき、ありがとうございました。

また、副議長の大役を務めることができ、大変貴重な経験ができました。

佐々町がよりよいまちになるため、様々な質問や提案などの意見

を聞き、佐々町に対する愛を感じることができました。

わたくし達が佐々町のために行えることはまだ少ないですが、今回提案された意見が実現されることを期待して、次はわたくし達の方で、このまちを愛いっばいに、していきたいと思えます。



子ども議会を終えて

分かりやすい誌面づくり

平成三十一年度「全国町村議会クリニック研修会」

7月10日（火）「東京都全国町村議会議員会館」

芳野政明（議会広報サポーター）講師による「住民に伝わり議会への関心を高める『議会だより』の基本編集」の講義を受講した。

議会広報誌で大切なことは、住民に議会への関心を高める事であり、信頼と存在感をたかめ、身近な存在としてアピールすることです。

そのためには、住民が読みたくなる誌面づくりが必要であり、最も重要です。

「広報誌は、『誌面の構成が住民目線であり、自然に興味心をあおるものでなくてはならない。』基本条件としては誌面の内容が読みやすく、何を伝えようとしているかが分かりやすく、むずかしい印象を与えないこと。」さらに、写真・イラ



長谷川 忠

スト・図柄を盛り込み、読む構成だけでなく見る構成をも多用することで、誌面のイメージが大きく変わるなどを学びました。

今回、はじめて広報クリニック研修を受講しましたが、全国各地から参加された皆さんの熱心な受講姿勢に、大きな刺激を受けました。

今後とも、新しい感覚のページ作りに努めて参ります。

地方財政の充実・強化を求める意見書要旨

2019年度の政府予算と地方財政の検討に当たっては、国民生活を犠牲にする財政とするのではなく、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立をめざすことが必要である。政府に以下の事項の実現を求めらる。

- ① 増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保をはかること。
- ② 急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保及び地方財政措置を的確に行うこと。
- ③ 地方財政における「トップランナー方式」の導入は、人口規模・事業規模など、各自治体の違いを無視して経費を算定するものであり、廃止・縮小を含めた検討を行うこと。
- ④ 公共施設の耐震化や緊急防災・減災事業の拡充と十分な期間の確保を行うこと
- ⑤ 地域間の財政偏在性の是正のため、所得税・消費税を国税から地方税への税源移譲を行うなど抜本的な解決策の協議を進めること。
- ⑥ 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、小規模自治体に配慮した段階補正の強化など、対策を講じること。
- ⑦ 自治体の基金残高を、地方財政計画や地方交付税に反映させないこと。

平成30年11月1日

佐々町議会

※内閣総理大臣ほか関係大臣へ意見書を提出しました。

議会日誌

7月

- 2日 県下町村議会議員研修会
- 9日 議会だより編集委員会
- 10日 広報クリニック研修会（議会だより編集委員）
- 12日 西九州自動車道建設促進協議会理事会・総会
- 17日 議会だより編集委員会
- 20日 議会だより編集委員会
- 24日 議会だより編集委員会

8月

- 2日 産業建設文教委員会
- 3日 議会運営委員会
- 10日 総務厚生委員会
- 20日 総務厚生委員会
- 28日 産業建設文教委員会
- 委員長研修会（常任委員会正副委員長・正副議長）
- 29日 子ども議会・全員協議会
- 30日 西九州自動車道建設促進協議会要望活動（佐賀国道事務所・佐賀県庁・佐賀県議会・長崎河川国道事務所）
- 31日 産業建設文教委員会

9月

- 4日 総務厚生委員会
- 6日 全員協議会
- 12日 総務厚生委員会
- 18日 議会運営委員会
- 26日 議会だより編集委員会
- 27日 議会広報研修会（議会だより編集委員）
- 28日 9月定例会（1日目）
- 28日 決算審査特別委員会
- 9月定例会（2日目）

10月

- 1日 9月定例会（3日目）
- 9日 決算審査特別委員会
- 10日 決算審査特別委員会
- 12日 決算審査特別委員会
- 15日 決算審査特別委員会
- 16日 決算審査特別委員会
- 17日 総務厚生委員会
- 17日 決算審査特別委員会
- 23日 議会だより編集委員会
- 29日 議長・副議長及び事務局研修会
- 31日 議会運営委員会
- 9月定例会（4日目）

議会イメージが変化

インターンシップを通して 長崎県立大学三年 白井 千星

9 月の1カ月間、佐々町議会事務局にてインターンシップに参加させていただきました。今回、議事事務局の庶務、会議録反訳、常任委員会や定例会準備等、そして監査の例月出納検査の事務補助を経験した。

た。そして、町は皆でつくっていくものだと思われ、改めて感じさせられた。

私は当初、議員の方々に対して、堅い印象、活動の不透明さや、報道による負のイメージを抱いていた。しかし、実際にお会いすると、皆様のお人柄や親しみやすさに感銘を受け、また町民の意見を反映し、佐々町をより良くするために懸命に活動されている様子が感じられた。

会議録反訳業務では、子ども議会の反訳に関わった。小中学生が当事者意識を持ち、皆で自分たちのふるさと佐々町をより良くしようとしている様子が伝わってきた。

今回、実際に目で見ること、役場の業務は多岐にわたっており、様々な形で町に貢献していると実感した。職員の方々と共に働き、社会を知り、そして自分自身や将来について考えるきっかけとなった。この経験と様々な方々との出会いにより、1カ月前とは明らかに

2015年に18歳選挙権が導入され、ますます若い世代の政治参加が求められている。まず身近な町の問題について関心を寄せ、他人事から自分事として捉えることで政治意識を向上させる良いきっかけになると思っ

た。そして、町は皆でつくっていくものだと思われ、改めて感じさせられた。

に就業意識が変化したと思う。この経験を活かして社会に貢献できるように、幅広い知識と教養を学び、自身を向上させていきたい。

最後に、議員の方々、議会事務局の皆様を始めとする佐々町役場の職員の皆様に心より感謝申し上げます。



▲定例会終了後、議員の皆さんと

次回定例会の傍聴ご案内

12月を予定しています。日程については、広報無線、佐々町公式ホームページでお知らせします。

9月定例会の傍聴者数は12人でした。

町民の声を募集中!

TEL 62-2101
FAX 63-5398

議会だより編集委員会からのお願い



「佐々町議会」の腕章を着用した議会だより編集委員が、取材の折に写真撮影を行うことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

議会傍聴アンケート募集

佐々町議会では、傍聴をされた方からご意見・ご要望をいただき、今後の議会運営に役立ててまいりたいと考えています。アンケート用紙につきましては、議場傍聴席入口に設置してありますのでご協力よろしくお願いたします。

編集後記

議員となり早くも一年半あまり、すべてが別世界に迷い込んだ様な感覚の日々。それでも、身に余る沢山の支持をおいそれと裏切る事は出来ない。議会だより委員として、先輩議員から指導を受けることにより、専門用語・ページ構成などの編集作業ノウハウをまなび、少しずつではあるけれど先行きが見えてきた現状であります。まだまだ、多くの学ばべき課題が山積していますが、いろんな、経験を重ね精進する事で、編集委員として頑張る所存です。

また、町民の皆さんの声を反映するべく、邁進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

長谷川 忠



さざなみ保育園運動会 10月7日(日)

佐々町議会だよりはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

印刷/コロニー印刷